

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	静岡県掛川市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	掛川市の文化遺産を活かした地域活性化事業		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>第2次掛川市総合計画（平成28年～平成37年度）の重点施策である「郷土の文化の保存と市民の文化芸術活動の振興」や「地域資源を活かした着地型、交流型、広域連携型観光の推進」を図るとともに、合わせて文化遺産の次世代への継承・発展や、文化遺産を活用して地域活性化を推進するため、下記の取組を実施する。下記の取組は、行政、民間団体、文化財保護団体等との連携と協力により、市全体で文化遺産を保存・継承し、活用していくための体制の確立を目指す。</p>			
<p>今年度の実施事業</p> <p>1. 三熊野神社例大祭の保存伝承と地域活性化事業 2. 小笠神社の矢矧祭記録作成事業</p>			
<p>今年度の実施計画</p> <p>・三熊野神社例大祭の保存伝承と地域活性化 今年度から3か年（平成31年度）で、祢里小屋の建て替え工事を実施し事業を終了する予定である。 ・小笠神社の矢矧祭記録作成事業 今年度から3か年（平成30年度）で、映像記録、調査報告書を作成し、事業を終了とする。</p>			
<p>目指す姿（第2次掛川市総合計画）</p> <p>・住んでいる人自らが地域の魅力を再発見し、市民総ぐるみで市の魅力を発信し、多くの人が訪れ、活気とうるおいに満ちた交流がなされている。 ・市民が文化芸術に親しみ、郷土を愛し誇りに思っています。</p>			
<p>目標指数</p> <p>・観光交流客数 平成31年度 3,800千人 （平成26年度 3,691千人） ・郷土の文化に誇りと愛着を持つ市民の割合 平成31年度 50% （平成27年度 41.8%） ※第2次掛川市総合計画（該当部分の抜粋）は別添のとおり。</p>			
6 実施体制			
<p>掛川市が、本実施計画に係る全体の企画・調整や、指導等を行う。主な担当課、役割は下記のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育課：企画・調整、無形民俗文化財の記録作成に関する指導等 ・観光交流課：観光業務に関する指導・連携等 ・文化振興課：指導・助言 <p>また、補助事業は次の団体が実施する。 掛川市文化観光実行委員会（会長：平野正俊） 構成団体（西田町春の例大祭保存継承実行委員会、掛川市無形民俗記録作成事業実行委員会）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 40,474 千円	平成29年度申請額： 7,882 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>1. 三熊野神社例大祭の保存伝承と地域活性化事業</p> <p>【効果1】 復元改修により、山車をより長い期間維持できる。西田町の山車は、江戸の天下祭り祭車の原型で、江戸中期の「神田明神祭礼絵巻」にも同様の屋台が見られる。このような西田町の山車は貴重な文化財であり、一本型万度型の山車の「復元改修」することにより、文化財保護と祭り行事そのものを後世に長く継承できる。</p> <p>【効果2】 復元改修作業の映像を公開することで山車(地車)修繕の伝統的技術をより多くの人達を知ることができる。効果3：西田町山車復元修復作業確認公開事業を開催することにより、地域の貴重な文化財としての歴史的価値を見出し長く記録保存することができる。</p> <p>2. 小笠神社の矢矧祭 記録作成</p> <p>【効果1】 聞き取り調査、文献調査を行いながら矢矧祭の記録撮影を行っていくことにより、祭礼の歴史や変遷、行事の内容を地元の方々とともに、その伝統の重みと重要性を改めて認識する機会となっている。実際に、地元の方々の聞き取り調査を行っていくなかで、後継者不足や今後の伝承を危惧する声があり、祭礼の伝承に対する意識の高まりを感じる。また、祭礼の歴史や背景を知り、郷土の歴史に関心を持つようになっている。</p> <p>【効果2】 DVD配布することで、多くの人々がこの祭礼に関心を持ち、祭礼の参加者が増加するだけでなく、見学者の増加が図られる。</p>			

10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）	
事業概要：	
事業概要：	
事業概要：	
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等	
「掛川市歴史的風致維持向上計画」を平成29年度策定。平成30年度認定見込み。	
12 担当部局	
地方公共団体 担当部局課	掛川市教育委員会 社会教育課 文化財係

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 1 :	その他					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 1 :	県内図書館におけるDVD利用回数、112施設、1施設年10回貸出×112施設=1120回利用予定			関連事業:	①④⑥⑧⑩	
目標値 1 :	平成 29 年度		1,120 回	⇒	平成 33 年度 1,500 回	
設定根拠 1 :	平成29年、県内各主要図書館112施設、1施設年10回貸出×112施設=1120回利用予定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
回	回	回	回	回	回	
目標区分 2 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 2 :	祭礼行事への参加住民数					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 2 :	各町住民祭礼参加者			関連事業:	②⑤⑦⑨⑪	
目標値 2 :	平成 28 年度		250 人	⇒	平成 33 年度 630 人	
設定根拠 2 :	平成28年度参加者から1年当たり1割程度の増加が見込まれる。					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 3 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 3 :	祭礼行事への参加住民数					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 3 :	小笠神社が山頂にあることから、矢矧祭への参加者はほぼ関係者だけである。DVDを作成することにより、地元住民が祭に関心をもち、保存伝承へ意識を高める。			関連事業:	③	
目標値 3 :	平成 28 年度		80 人	⇒	平成 33 年度 120 人	
設定根拠 3 :	平成28年度の参加者80人、DVD作成の効果により8人程度の増加が見込まれる。					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	

事業⑩：	三熊野神社例大祭の保存伝承と地域活性化事業					実施団体：	中本町文化遺産活性化委員会				
事業区分：	記録作成					事業期間：	平成 33 年度 ~ 平成 33 年度				
事業概要：	中本町の文化財的価値のある山車として復元改修作業の様子をビデオや写真等で記録し、文化庁伝統文化課、国立国会図書館及び掛川市内の各小中学校及び静岡県下の主要図書館に文化継承を促すため映像記録DVDを配布する。										
評価指標区分：	・記録映像の貸し出し（又は利用）回数等					（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標：	県内図書館におけるDVD利用回数										
目標値：	平成 33 年度		1,120 回		⇒		平成 33 年度		1,120 回		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
回	回	回	回	回	回						
事業⑪：	三熊野神社例大祭の保存伝承と地域活性化事業					実施団体：	中本町文化遺産活性化委員会				
事業区分：	用具等整備					事業期間：	平成 33 年度 ~ 平成 33 年度				
事業概要：	三熊野神社例大祭で曳行される13基の山車の内、中本町の山車(祢里)復元改修を行う。また、復元改修をする中で資料や伝統技術の公開展示を行うものとし、地域の伝統文化を伝える山車や祭礼行事の継承を推進する。										
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数					（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標：	中本町住民祭礼参加者										
目標値：	平成 28 年度		60 人		⇒		平成 33 年度		90 人		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
人	人	人	人	人	人						